

「霊における会話 Conversation in the Spirit」 ～シノドス的方法の体験～

この交流会では、教会のシノダリティをよく表す識別の方法として「霊における会話」を体験します。

●シノドスの教会(ともに歩む教会)の特徴

1. ともにある教会：「集い」や「共同体」を大切に作る教会
2. ともに担う教会：共同責任
3. ともに考え、祈り、識別する教会：共同識別

●「霊における会話」とは

シノドスの教会における「共同識別」のための手助けとなるものです。

これまで分かち合いで大切にしてきた事から(傾聴、受容等)から更にシノドス的方法として、以下の要素が加わります。

- ・与えられたテーマについての個人の準備
- ・発言時間の平等な配分(例：1人3分以内)
- ・沈黙と祈り

主役は聖霊 キリストにおける兄弟姉妹に耳を傾けることから、真の主役である聖霊に耳を傾ける。

目的は自分を空っぽにして「聞く」ことに集中すること

●「霊における会話」のやり方 ただ聞くことにのみ集中するためメモを取ることをお勧めします。

「沈黙、祈り、みことばに耳を傾け」

個人の準備 聖霊の導きを願いながらテーマや問いに対して自分の答えを準備する。

第1ステップ「わたし(I)」 発言時間 1人3分以内

発言し、聞く 相手の語った内容についてコメントや賛否は述べません。

沈黙と祈り グループの一人ひとりの分かち合いを聞く中で心に浮かんだこと、特に最も響いたこと、最も抵抗を感じたこと、大きな課題と感じたこと、聖霊が働いていると感じたことを祈りの内に思い巡らせる。

第2ステップ「あなた(You)」 発言時間 1人2分以内

他者と神にスペースを開く 第1ステップで聞いたことから、沈黙の祈りの内に思い巡らしたことを分かち合う。第1ステップで発言しきれなかったことを追加で話すときではありません。

沈黙と祈り 第2ステップで各自の発言を聞くことで浮かび上がったことを振り返り、霊がどのようにグループとしての私たちを導いてくれるかを祈り求め、ポストイットに書留める。

第3ステップ「わたしたち(We)」 書留めた内容を発表しながらポストイットを貼る。 1人1分以内

ともに形づくって グループ内での一致点、一致しがたい部分、新しい発見を共同作業で特定する。グループ内のすべての人が、自分の声が反映されており、異なる意見を尊重しながら誰もが納得できるものにする。

(参考：『討議要綱—第1会期』、『日本のシノドスのつどい 資料集』『シノドスハンドブック』)



すべての人は希望を抱きます。明日は何が起こるか分からないとはいえ、希望はよいものへの願望と期待として、一人ひとりの心の中に宿っています。けれども将来が予測できないことから、相反する思いを抱くこともあります。信頼から恐れへ、平穏から落胆へ、確信から疑いへ。わたしたちはしばしば、失望した人と出会います。自分に幸福をもたらしうるものなど何もないかのように、懐疑的に、悲観的に将来を見る人たちです。聖年が、すべての人にとって、希望を取り戻す機会となりますように。

(「希望は欺かない」2025年の通常聖年公布の大勅書 1より)

テーマ：2025年の聖年に、希望の巡礼者の共同体としてどのような取り組みをするか

質問 (1) 今、**わたし**が希望している「よいもの」は何でしょうか？

(2) **わたしたち**は、希望の巡礼者の共同体として、この希望の実現を目指して、どのような歩みを始めたいですか？

「霊における会話」のためのシート(2024年度役員交流会 参加者用)

テーマ:2025 年の聖年に、希望の巡礼者の共同体としてどのような取り組みをするか

- 質問 (1) 今、**わたし**が希望している「よいもの」は何でしょうか？
(2) **わたしたち**は、希望の巡礼者の共同体として、この希望の実現を目指して、
どのような歩みを始めたいですか？

<個人の祈り>

沈黙の祈りの中で、導入の講話を聞いて、テーマについて、今の私が取り組みたいこと、学びたいこと、疑問に思っていることなどを思いめぐらし、ここに書きとめます。

第1ステップ：わたし（ I ）「発言し、聞く」 1人最大3分

一人ひとりが祈りの内に得られたこと、上に書きとめたことを分かち合い、その発言を小グループにいる一人ひとりが注意深く聞くことに専念する時です。聞き取れない言葉について質問することが出来ますが、相手の語った内容について、コメントや賛否を述べることをしません。一人ひとりが語っていることに敬意を表しながら、受けとめます。

<沈黙の祈り>

沈黙のうちに第1ステップの分かち合いをふり返ります。グループの一人ひとりの語りを聞く中で心に浮かび上がったこと、その中でもっとも響いたこと、もっとも抵抗を感じたこと、大きな課題と感じたこと、聖霊が働いていると感じたことは？ ここに書きとめます。

第2ステップ：あなた（ You ）「他者と神にスペースを開く」 1人最大2分
書きとめたことを発言します。第1ステップ同様、敬意を表しながら相手の話を聞きます。

<沈黙の祈り>

沈黙のうちに第1、第2ステップの分かち合いをふり返ります。グループの発言を聞く中で浮かび上がったことをふり返りながら、聖霊がどのようにグループとしてのわたしたちを導かれている重要なポイントを、一言/一文でポストイットに1人数枚に書きとめます。

第3ステップ: わたしたち (We) 「ともに形づくって」 1人1分

聖霊の導きのもとに、分かち合いの内容において一致している部分を見極め、それと共に、一致し難い部分や新たな発見も見出しながら、ともに分かち合います。

<感謝のための終わりの祈り>